

「新退職報償金システム」の元号定義ファイルのアップロードについて

令和元年 5 月 31 日

「新退職報償金システム」（以下「システム」という。）の新元号対応については、平成 31 年 3 月 1 日付け消基発第 124 号「退職報償金システムの元号改正への対応について」において、データの入出力の際の西暦と元号の変換定義ファイル（以下、「元号定義ファイル」という。）を変更することにより元号改正への対応を行うこと、当該ファイルはホームページにアップロードすることを通知しておりました。

しかし、4 月末に予定されていた元号定義ファイルのアップロードの実行直前に、当該ファイルを変更してシステムを使用した場合に源泉徴収票の印刷に問題が生じることが確認されたため（問題の内容については別紙 1 参照）、アップロードを延期しておりましたが、このほかには特に問題は無いこと、また、この問題の解決には時間を要することから、利用される方々の利便性を考慮し、現時点での元号定義ファイルを当基金ホームページにアップロードすることといたしました。

貴団体においてシステムで新元号を使用する場合には、別紙 2「新退職報償金システムの元号改正に伴う対応手順について」に従って元号定義ファイルを変更していただくようお願いします。

また、基金への退職報償金の請求につきましては引き続き「平成」を用いて改元日以降の年を表示して請求書及び請求データを送付いただくことも可能です。

新元号対応のための元号定義ファイルのアップロードが遅れたこと、また対応が不十分となったことをお詫びします。

「新退職報償金システム」新元号対応の問題点について

新退職報償金システムで元号定義ファイルを新元号対応のものに差し替えた後に「退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」を印刷すると、同票の入力項目名のうち、退職報償金の支払を受けた年の1月1日の住所を記入する欄について「令和1年1月1日の住所」と表示されてしまいます。

(例)

令和1年分 退職所得の源泉徴収票・特別徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	〒 999-9999 基金町2-9-16					
	令和1年1月1日の住所	同上					
	氏名	(役職名) 基金太郎					
区分		支払金額		源泉徴収税額		特別徴収	
						市	町
所得税法第201条第1項第1号並びに 地方税法第50条の6第1項第1号及び 第328条の6第1項第1号適用分		千 円 264000		千 円 0		村	民 税
所得税法第201条第1項第2号並びに 地方税法第50条の6第1項第2号及び 第328条の6第1項第2号適用分						税	
所得税法第201条第3項並びに地方税法 第50条の6第2項及び第328条の6第2項 適用分						千	円
退職所得控除額		勤続年数		就職年月日		退	
560 万円		14 年		平成18年4月1日		令和	

当基金から国税庁に確認したところ、このような表示の「令和1年分 退職所得の源泉徴収票・特別徴収票」であっても税務署は受理するという回答を得ておりますので、貴団体の消防団に所属していた元消防団員の方から源泉徴収票の表示について問い合わせがあった場合には、その旨お答えいただくようにお願いします。

市町村用システム

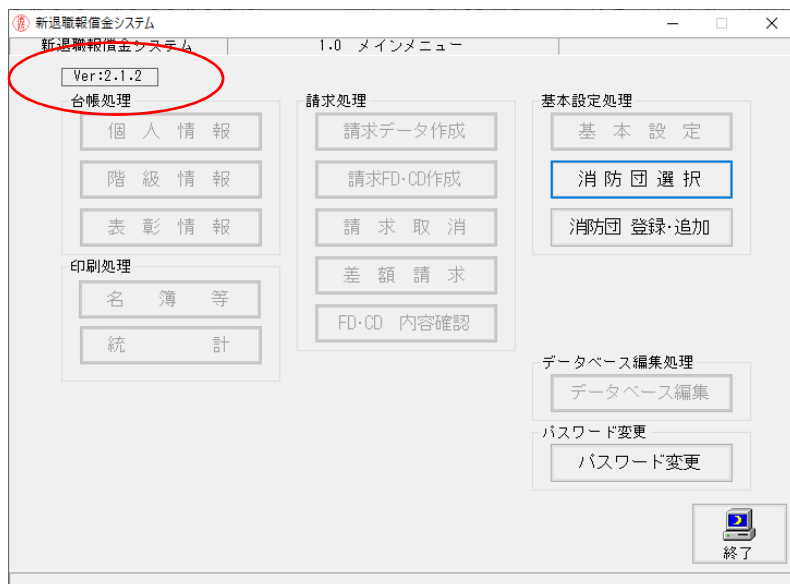
新退職報償金システムの元号改正に伴う対応手順について

新退職報償金システム（以下、システムという。）の元号改正に伴う対応は、システムインストールフォルダーにあるファイル“新退職報償金システム.exe.config”（config は拡張子）を新元号に対応した版に更新することにより行います。以下、この“新退職報償金システム.exe.config”更新作業の手順をお示しします。

なお、この作業においてはファイルの拡張子を確認する必要があるので、システムをインストールしているパソコンが拡張子を表示できない設定になっている場合には、拡張子を表示できるように設定変更してください。

1 現在使用しているシステムのバージョンを確認する

システムを起動し、左上に表示されているシステムのバージョン（Ver:*.*.*）を確認します。



2 新元号対応版“新退職報償金システム.exe.config”を入手し保存する

- (1) 当基金のホームページ(<http://www.syouboukikin.jp/download/>)から、「新元号対応元号定義ファイルのダウンロード(zip形式)」をクリックして zip ファイル「shingengouteigi.zip」をダウンロードします。
- (2) 「shingengouteigi.zip」を開いて、その中から下表を参照して、1で確認したシステムのバージョンに対応する“新退職報償金システム.exe.config”が格納された zip ファイルを開き、格納されている“新退職報償金システム.exe.config”をパソコンのデスクトップ上にコピーします。

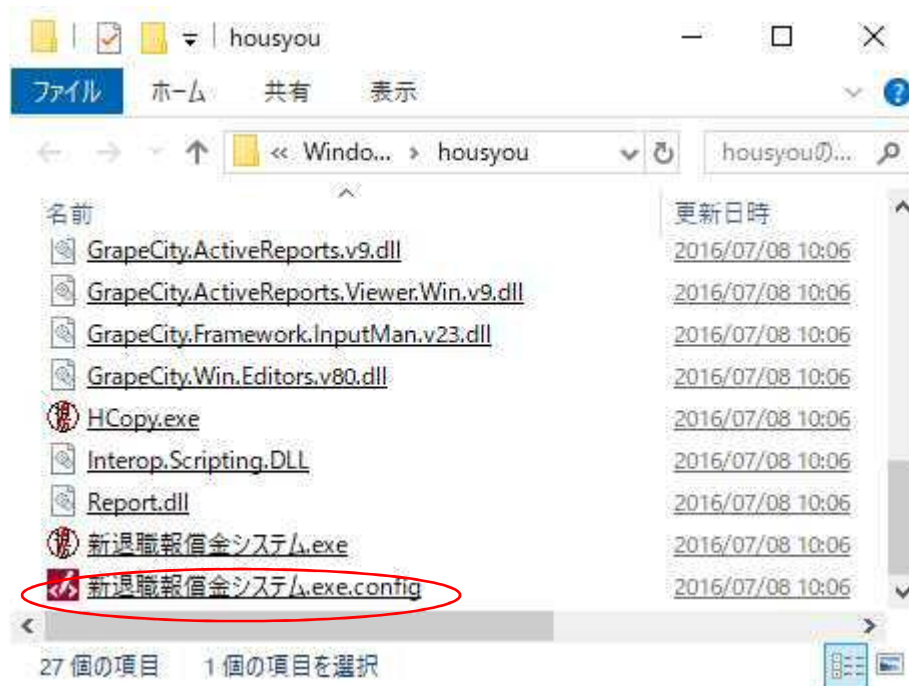
システムのバージョン	“新退職報償金システム.exe.config”が格納された zip
Ver. 1.0	新退職報償金システム_Ver1.0_元号定義ファイル.zip
Ver. 1.1、Ver. 2.0	新退職報償金システム_Ver1.1、2.0_元号定義ファイル.zip
Ver. 2.1	新退職報償金システム_Ver2.1_元号定義ファイル.zip

※ 当基金のホームページからのファイルのダウンロードが困難な場合には、当基金にご連絡ください。メール添付または CD 郵送により新元号対応版“新退職報償金システム.exe.config”を送付します。

3 更新前の“新退職報償金システム.exe.config”を確認する

- (1) 次の手順でシステムのインストールフォルダー(デフォルトでは c:\¥housyou)を開きます。
 - ① デスクトップ上のアイコン「新退職報償金システム」を右クリック
 - ② 表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
 - ③ 「新退職報償金システムのプロパティ」画面が開くので、「ファイルの場所を開く」ボタンをクリック

- (2) 開いたフォルダーに更新前の“新退職報償金システム.exe.config”があることを確認します。



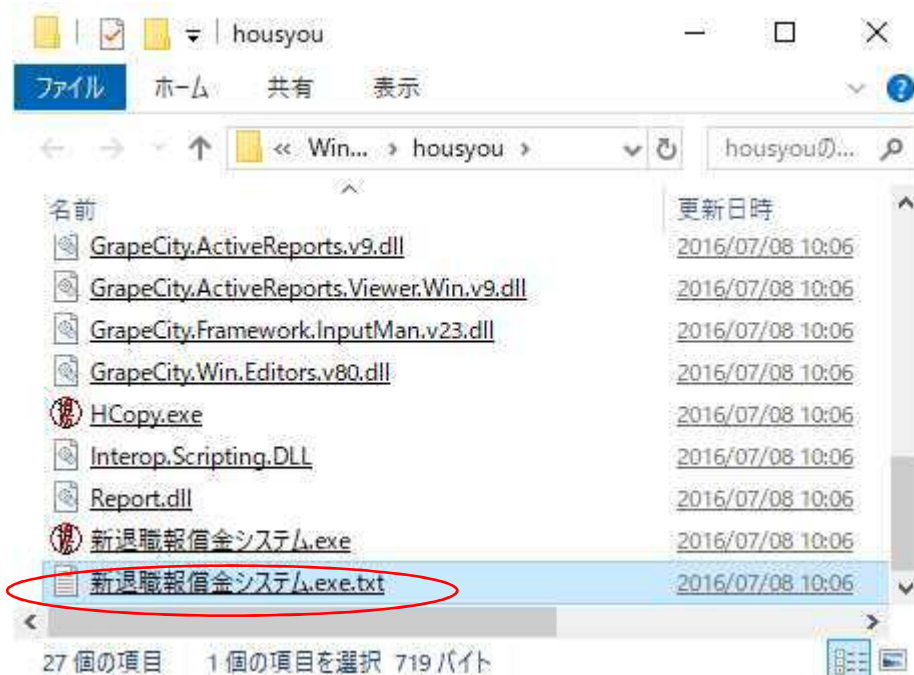
4 “新退職報償金システム.exe.config”の名前を変更する

(更新前の“新退職報償金システム.exe.config”のバックアップ)

更新前の“新退職報償金システム.exe.config”の名前を変えて保存しておくことにより、更新後にシステムに不具合が発生した場合にシステムを更新前の状態に復元することが可能となりますので、この手順は必ず行ってください。

3 (2)で確認した更新前の“新退職報償金システム.exe.config”の名前を“新退職報償金システム.exe.txt”に変更します(拡張子を“txt”に変更)。

「拡張子を変更すると、ファイルが使えなくなる可能性があります。変更しますか?」という警告が出る場合は「はい」をクリックします。



5 新元号対応版“新退職報償金システム.exe.config”をシステムインストールフォルダーにコピーする

2で入手したデスクトップ上の“新退職報償金システム.exe.config”を、3(1)で開いているシステムインストールフォルダーにコピーすることにより“新退職報償金システム.exe.config”ファイルを更新します。

